



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月13日

上場会社名 株式会社鈴木 上場取引所 東
 コード番号 6785 URL https://www.suzukinet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 教義
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 本間 浩正 TEL 026-251-2600
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績（2019年7月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	21,418	6.5	1,384	0.2	1,354	2.8	1,270	98.2
2019年6月期第3四半期	20,113	△2.0	1,382	△25.2	1,317	△31.5	641	△42.3

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 1,096百万円 (97.8%) 2019年6月期第3四半期 554百万円 (△56.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	88.34	—
2019年6月期第3四半期	44.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	25,812	17,372	66.0
2019年6月期	24,531	16,649	66.3

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 17,026百万円 2019年6月期 16,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2020年6月期	—	0.00	—		
2020年6月期（予想）				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,605	7.7	1,597	△6.8	1,562	△8.7	1,341	49.5	93.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期3Q	14,390,000株	2019年6月期	14,390,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期3Q	4,486株	2019年6月期	4,457株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期3Q	14,385,528株	2019年6月期3Q	14,385,551株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げ後の個人消費の減速や米中貿易摩擦の影響により後退していた景気が、内需の牽引により緩やかな回復軌道に復帰する兆しがあったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により景気の下振れリスクが急速に高まってきました。また海外におきましては、新型コロナウイルス感染症による経済の低迷が各国に広がり深刻化してきています。感染終息の時期については見通しが立たない状況が続いており、先行き不透明感は一層強まっています。

当社グループにおいては、部品セグメントでは、電子部品の主力であるスマートフォン関連部品の需要が底堅く推移しましたが、自動車電装部品は減速傾向となりました。また機械器具セグメントでは、自動機器は好調に推移し、医療組立は堅調を維持しました。

このような状況下、当社グループは、更なる生産効率の向上、および高精度の品質維持を実現するために積極的な改善活動を推し進めてきました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高214億1千8百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は13億8千4百万円（前年同期比0.2%増）、経常利益は13億5千4百万円（前年同期比2.8%増）となり、特別利益で投資有価証券売却益7億5千2百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億7千万円（前年同期比98.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①金型

電子機器向け金型、自動車電装向け金型を主軸として販売してまいりました。電子機器向け金型は、低調だったスマートフォン部品用金型の受注が上向きとなり、自動車電装向け金型は堅調でした。また高い生産効率を維持したことで増益となりました。

その結果、売上高は10億3千9百万円（前年同期比13.3%減）、セグメント利益は2億7百万円（前年同期比47.0%増）となりました。

②部品

電子機器向け部品、自動車電装向け部品を主軸として販売してまいりました。電子機器向け部品はスマートフォン関連部品の需要が増加して好調に推移し、自動車電装向け部品は概ね計画通り推移しました。しかし利益については、生産設備投資による減価償却費増加等の要因により減益となりました。

その結果、売上高は162億9千5百万円（前年同期比6.8%増）、セグメント利益は14億4千8百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

③機械器具

各種自動機器、医療器具を主軸として販売してまいりました。各種自動機器は半導体関連装置や車載関連装置などが堅調に推移し、医療器具も市場の高い需要を背景に計画を上回る受注となりました。

その結果、売上高は40億7千6百万円（前年同期比11.8%増）、セグメント利益は4億8千7百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

④その他

賃貸事業、売電事業を行っております。

売上高は7百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益は3千8百万円（前年同期比26.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、流動資産は111億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億8千6百万円増加しました。これは主に現金及び預金が3億7百万円、未収入金が2億円、仕掛品が1億9千4百万円増加したことによるものであります。固定資産は146億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億9千5百万円増加しました。これは主に投資有価証券が7億4千万円減少しましたが、有形固定資産が10億6千1百万円増加したことによるものであります。

(負債)

流動負債は65億3千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億7千3百万円増加しました。これは主に買掛金が5億6千3百万円、賞与引当金が2億4千6百万円増加したことによるものであります。固定負債は19億円となり、前連結会計年度末に比べ2億1千5百万円減少しました。これは主に長期借入金が3億1千1百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は173億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億2千3百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が3億9千4百万円減少しましたが、利益剰余金が11億1千2百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.0%（前連結会計年度末は66.3%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期通期の業績予想につきまして、2020年2月10日に公表しました「2020年6月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」の通期連結業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,553,383	2,861,076
受取手形及び売掛金	4,788,186	4,732,402
商品及び製品	320,795	351,193
仕掛品	1,224,323	1,419,009
原材料及び貯蔵品	1,295,107	1,333,437
その他	260,066	431,156
流動資産合計	10,441,863	11,128,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,908,985	7,060,828
機械装置及び運搬具（純額）	3,542,055	4,157,207
土地	1,423,475	1,426,115
その他（純額）	2,313,434	605,251
有形固定資産合計	12,187,951	13,249,402
無形固定資産	114,774	102,829
投資その他の資産		
投資有価証券	1,410,281	669,628
その他	377,336	663,762
貸倒引当金	△1,136	△1,136
投資その他の資産合計	1,786,481	1,332,254
固定資産合計	14,089,207	14,684,486
資産合計	24,531,070	25,812,761

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,852,206	3,415,482
短期借入金	1,303,111	1,134,417
1年内返済予定の長期借入金	415,272	415,272
未払法人税等	294,532	428,893
賞与引当金	100,167	347,160
役員賞与引当金	27,900	39,900
その他	771,997	757,837
流動負債合計	5,765,188	6,538,963
固定負債		
長期借入金	792,302	480,848
長期未払金	410,256	461,152
退職給付に係る負債	913,856	958,849
固定負債合計	2,116,414	1,900,849
負債合計	7,881,602	8,439,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,437,470	2,437,470
資本剰余金	2,248,512	2,248,512
利益剰余金	11,002,236	12,114,862
自己株式	△1,226	△1,249
株主資本合計	15,686,992	16,799,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	551,492	157,391
為替換算調整勘定	64,234	96,291
退職給付に係る調整累計額	△28,528	△27,089
その他の包括利益累計額合計	587,198	226,592
非支配株主持分	375,277	346,760
純資産合計	16,649,468	17,372,948
負債純資産合計	24,531,070	25,812,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	20,113,898	21,418,827
売上原価	17,238,286	18,489,579
売上総利益	2,875,612	2,929,248
販売費及び一般管理費	1,493,116	1,544,452
営業利益	1,382,495	1,384,796
営業外収益		
受取利息	9,446	6,998
受取配当金	23,801	20,170
受取賃貸料	5,386	5,450
スクラップ売却益	5,239	4,208
その他	20,934	7,451
営業外収益合計	64,807	44,280
営業外費用		
支払利息	27,648	28,644
為替差損	97,448	45,902
その他	5,023	—
営業外費用合計	130,120	74,547
経常利益	1,317,183	1,354,528
特別利益		
固定資産売却益	2,388	310
投資有価証券売却益	1,795	752,341
特別利益合計	4,184	752,652
特別損失		
固定資産売却損	2,943	1,346
固定資産除却損	659	1,029
投資有価証券評価損	—	1,431
特別損失合計	3,602	3,807
税金等調整前四半期純利益	1,317,764	2,103,373
法人税、住民税及び事業税	605,320	767,700
法人税等調整額	△88,184	△118,387
法人税等合計	517,136	649,312
四半期純利益	800,628	1,454,061
非支配株主に帰属する四半期純利益	159,298	183,193
親会社株主に帰属する四半期純利益	641,330	1,270,867

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年7月1日 至 2019年3月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年7月1日 至 2020年3月31日）
四半期純利益	800,628	1,454,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△288,214	△394,101
為替換算調整勘定	△2,187	35,512
退職給付に係る調整額	44,350	1,382
その他の包括利益合計	△246,051	△357,206
四半期包括利益	554,576	1,096,854
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	396,102	910,261
非支配株主に係る四半期包括利益	158,474	186,592

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2018年7月1日至2019年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,198,738	15,261,813	3,645,547	20,106,099	7,799	20,113,898	—	20,113,898
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	490,107	△354,192	50,084	185,999	57,960	243,959	△243,959	—
計	1,688,845	14,907,620	3,695,632	20,292,099	65,759	20,357,858	△243,959	20,113,898
セグメント利益	141,135	1,560,387	476,374	2,177,897	30,164	2,208,061	△825,566	1,382,495

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△825,566千円には、セグメント間取引消去9,177千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△823,585千円、棚卸資産の調整額4,354千円及びその他の影響額△15,512千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2019年7月1日至2020年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,039,602	16,295,014	4,076,457	21,411,075	7,752	21,418,827	—	21,418,827
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	664,713	△787,039	273,694	151,368	75,450	226,818	△226,818	—
計	1,704,316	15,507,975	4,350,152	21,562,444	83,202	21,645,646	△226,818	21,418,827
セグメント利益	207,426	1,448,054	487,321	2,142,801	38,080	2,180,882	△796,086	1,384,796

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△796,086千円には、セグメント間取引消去20,130千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△830,801千円、棚卸資産の調整額32,118千円及びその他の影響額△17,533千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2020年4月9日開催の取締役会において、以下の通り子会社を設立することを決議し、2020年4月13日に設立いたしました。

1. 子会社設立の目的

当社は、2008年より医療器具事業に参入し、その間アイテムの増加、計画的な事業拡大を行ってまいりました。今後についても需要は順調に拡大していく予定です。今後の事業展開においては、自動化技術やIoTの導入による製品精度向上および生産効率向上が必須要件となっております。当社の経営資源をより効率的に注ぎ、事業の基盤をより強固にすることを目的として医療器具事業に特化した子会社を設立いたしました。

2. 設立した子会社の概要

(1) 名称	エスメディカル株式会社
(2) 所在地	長野県須坂市大字小河原2014番地5
(3) 代表者	高山 章
(4) 事業内容	医療用機器の組立、製造、販売
(5) 規模	資本金 80,000千円
(6) 設立年月日	2020年4月13日
(7) 出資比率	株式会社鈴木 100%